

第160回和光市環境づくり市民会議定例会(全体会議)要旨

日 時 令和2年8月20日(火) 午後3時～午後5時半
場 所 603議室
出席者 6名
峯岸正雄、芝勝治、高橋勝緒、高橋絹世、友國洋、渡辺康三
傍聴者 なし
事務局 環境課 課長 亀井、主幹 加藤、塩野

1 開会

- 峯岸会長から開会のあいさつ及び第五次和光市総合振興計画審議会の報告

2 議題

(1) 第2次和光市環境基本計画実行計画改訂版実施状況評価について

事務局から第2次和光市環境基本計画実行計画改訂版実施状況ヒアリングシートに対して寄せられた市民会議会員からの意見等に対し説明

- 施策1 緑被率の調査は、毎年評価する必要性は無いのではないか

⇒(環境課)5年に1度調査を行っている。

- 施策4 午王山が国指定の史跡に指定されたことから、生涯学習課を関係課として入れたらどうか

- 施策9 緑地の中には生産緑地が含まれていると思う。生産緑地の指定から30年経過する2022年に指定解除となり、緑被率も下がるのではないかと危惧している。

- 施策27 市役所はLEDに更新しているのか

⇒(環境課)まだしていない。

⇒LED化するにあたり費用がかかるが、長期的にみるとLED化した方が良い思うので進めていただきたい。

- 個別施策以外の意見

- ・地球温暖化に対する適応策に対する取り組みは、どのようになっているのか

⇒(環境課)温暖化対策実行計画では、適応策として農業・健康・水災害について記載。熱中症の話がでたが、防災無線を活用し、注意を呼び掛ける放送等も行っている。

- ・ 市民会議として毎年評価を行っているが、その評価を今度の環境基本計画策定に当たって、ぜひ反映していただきたい。

⇒(環境課)市民会議の意見を反映していきたいという考えのもと、今年度は、前倒しで評価を行っていただいている。

- ・ 市として、環境行政を市民に理解してもらい、協力して進めていくためにも、何をしようとして、何ができなかったのか、また、何をしなければならなかったのかという視点での整理が必要なのではないかと。

⇒(環境課)次期計画では、ご指摘いただいた視点での整理を含め、検討していく必要があると捉えている。

- ・ 随分前から指摘していることだが、会からの評価に対し、フィードバックしてもらいたい。環境施策について市として何を重視し行う計画であったか、何ができなかったか、できないことがどれだけあったのか、という整理を行い、情報発信していただきたい。

⇒(環境課)どういう形でまとめるのかは、検討する必要があるが、計画に対する進捗度を図るうえでも、考えていく必要はある。

⇒そのような点が市民に伝わらないと、施策の優先度との兼ね合いがあるのも理解しているが、環境行政は浸透しにくいのではないかと。住み心地が良くなったとか非常に難しい問題なので、環境行政として何を重視しこうなったという点を伝えていただきたい。

⇒(環境課)例えば、道路を舗装をしました。と表現するのか、遮熱性舗装、浸透性舗装をし環境に配慮しました。と表現するのかで、受け手側の印象は違うと思う。工夫してまいります。

⇒目に見えにくい部分があるが、緑地、湧水保全が、洪水対策や熱中症対策に繋がっていくし、水災害を減らすために浸透性の道路にしています。というのが、もっと伝わるといいと思う。

- ・ 第3次計画では、何がどれくらい達成されたかを見て決めていく必要性があるのでは

⇒(環境課)今後、計画を策定していく中で、現行計画での評価、そこから見える課題を考え、和光市の環境の中で、何が必要なかを踏まえ、骨子案等を作成する予定です。

- ・ トラスト制度との関係は

⇒(環境課)緑の基本計画に落とし込んでいくと聞いている。

環境基本計画との関係もあるので、都市整備課と連携しながら、必要な点は、落とし込んでいく予定です。

- ・ビオトープは、学校にはないのか
⇒(環境課)確認しておきます。
⇒学校で水を張って稲づくりを行っていたかと思うが、それは含まれないのか
そういうのが、ビオトープだと。
⇒(環境課)ビオトープの定義の仕方だと思うが、現在は、含めてはいない。

- ・個別の結果は、ここに上がってきているが、環境全体を見る立場で、環境課として全体を自己評価をしたらどうか
⇒(環境課)個別施策で評価するのか、方針で評価するのか、評価ポイントを含め、行う方向で検討します。

(2) その他

アンケートの回収状況報告

次回の会議日程

3 閉会